

I 展示活動

1 企画展

再開記念展 日本美術院五浦移転115周年 現代院展のあゆみ 天心記念茨城賞受賞作品を中心に

- 会期 2021(令和3)年4月24日(土)～6月6日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- 後援 NHK水戸放送局／茨城新聞社／朝日新聞水戸総局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／株式会社茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 縦24×25cm 96頁
- 開催日数 38日間
- 入場者数 5,434人
- 観覧料 一般630(520)円／満70歳以上310(260)円／高大生420(320)円／小中生210(160)円
※()内は20名以上の団体料金
※土曜日は高校生以下無料
※4月24日(土)は満70歳以上無料

●出品点数 38点

●内容解説

院展の名で親しまれている日本美術院は、明治31年(1898)に岡倉天心によって創立され、長い歴史を持つ美術団体として知られている。明治39年(1906)には、日本美術院の絵画創作の拠点が茨城県五浦に一時移転したことがあり、大正時代の再興院展を経、令和3年(2021)で115年になる。

茨城県は、平成7年(1995)より、日本画家の育成に貢献するために、院展に「天心記念茨城賞」を提供し、令和3年までに、26名の受賞者がいる。本展では、天心記念茨城賞の受賞作品を一堂に展示するとともに、日本美術院を支えた横山大観をはじめ、受賞作家にも大きな影響を与えてきた片岡球子、平山郁夫ら院展作家の作品も併せて展覧した。

天心の精神を継ぎ、新しい芸術を探し求める挑戦と苦悩、そこから生み出された天心記念茨城賞受賞作品の数々は、大観ら画壇の巨匠とは、またひと味違う新鮮な感動があるはずである。そこで、天心が愛した五浦の地で、「今」を生きる画家たちの情熱を紹介した。

●担当 松尾敦子(主任学芸員)

●関連事業

美術館再開記念 茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート
日時 4月24日(土) 午前11時～

講演会「天心記念茨城賞を語る」

日時 5月15日(土) 午後1時30分～2時30分

講師 倉島重友(第7回天心記念茨城賞受賞者、日本美術院同人)

展覧会担当学芸員による作品解説

日時 5月9日(日)・5月22日(土)

各日午後1時30分～2時

担当 松尾敦子(主任学芸員)

来て・見て・発見!アートツアー for kids

日時 4月29日(木・祝)

午前10時～12時

午後1時30分～3時30分

映画会「日々ノ境メ。國司華子」

日時 5月16日(日) 午前10時30分～

●関連記事

・大観の名品など展示 県五浦美術館 24日に全面再開
4月21日【茨城新聞】

・企画展で再スタート 北茨城 県天心記念五浦美術館
改修完了 24日から現代院展のあゆみ
4月21日【毎日新聞】

・五浦美術館 きょう再開 企画展「現代院展のあゆみ」
4月24日【産経新聞】

・五浦美術館 きょう再開 記念に企画展を開催
4月24日【読売新聞】

●関連放送

・「スクーパーレポート」 4月24日【茨城放送】

・「NHKお昼のニュース」 5月13日【NHK水戸放送局】

・「茨城放送ニュース」 5月14日【茨城放送】

・「HAPPYいばらき」 5月24、27日【FMかしま】

●同時開催

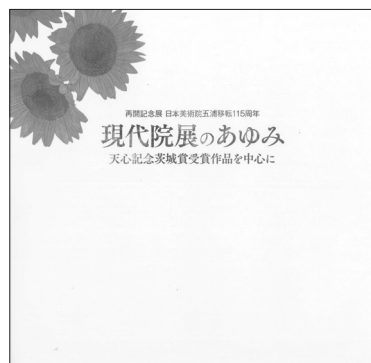
特別展示「横山大観の愛した五浦—小野金次旧蔵資料を中心に」



ポスター B2



チラシ A4



図録

● 出品作品一覧

天心記念茨城賞受賞作品

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	初出展	所蔵先
1	菊川三織子	花影	平成7年(1995)	210.0×168.0	再興第80回院展	茨城県近代美術館
2	西田俊英	寂光	平成8年(1996)	218.0×172.0	再興第81回院展	茨城県近代美術館
3	川瀬麿士	山	平成9年(1997)	174.0×218.0	再興第82回院展	茨城県近代美術館
4	小谷津雅美	終宴	平成10年(1998)	225.0×180.0	再興第83回院展	茨城県近代美術館
5	高橋天山	清夜	平成11年(1999)	224.0×179.0	再興第84回院展	茨城県近代美術館
6	齋藤満栄	秋晨	平成12年(2000)	172.0×217.0	再興第85回院展	茨城県近代美術館
7	倉島重友	川風	平成13年(2001)	213.0×168.0	再興第86回院展	茨城県近代美術館
8	小田野尚之	見送る人	平成14年(2002)	169.8×214.8	再興第87回院展	茨城県近代美術館
9	岡田眞治	冬のベネチア	平成15年(2003)	215.0×170.0	再興第88回院展	茨城県近代美術館
10	宮北千織	うつろふ	平成16年(2004)	170.0×215.0	再興第89回院展	茨城県近代美術館
11	國司華子	忘れ物ノ行方	平成17年(2005)	225.0×180.0	再興第90回院展	茨城県近代美術館
12	井手康人	奏園	平成18年(2006)	221.0×175.5	再興第91回院展	茨城県近代美術館
13	岩永てるみ	La vue d'Orsay	平成19年(2007)	218.0×173.0	再興第92回院展	茨城県近代美術館
14	川瀬伊人	愁思の沼	平成20年(2008)	211.0×169.5	再興第93回院展	茨城県近代美術館
15	鈴木恵麻	風模様	平成21年(2009)	170.5×215.0	再興第94回院展	茨城県近代美術館
16	並木秀俊	閃爍	平成22年(2010)	162.0×162.0	再興第95回院展	茨城県近代美術館
17	大久保智睦	far world	平成23年(2011)	158.0×162.0	再興第96回院展	茨城県近代美術館
18	高島圭史	旅の博物誌	平成24年(2012)	169.5×214.5	再興第97回院展	茨城県近代美術館
19	三浦愛子	蜘蛛の巣	平成25年(2013)	170.0×215.0	再興第98回院展	茨城県近代美術館
20	松岡 歩	群生	平成26年(2014)	170.0×215.0	再興第99回院展	茨城県近代美術館
21	武部雅子	あずける	平成27年(2015)	167.5×209.0	再興第100回院展	茨城県近代美術館
22	河本真里	雨宿り	平成28年(2016)	175.0×220.0	再興第101回院展	茨城県近代美術館
23	阪野智啓	山鉾巡行	平成29年(2017)	225.0×180.0	再興第102回院展	茨城県近代美術館
24	谷 善徳	鴻雁北	平成30年(2018)	225.0×180.0	再興第103回院展	茨城県近代美術館
25	木下千春	渦巻く	令和元年(2019)	180.0×220.0	再興第104回院展	茨城県

院展の画家 戦後の作品を中心に

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	初出展	所蔵先
26	横山大観	山に因む十題 霊峰四趣・其一春	昭和15年(1940)	75.2×110.7	紀元2600年奉祝作品展	茨城県近代美術館
27	小林古径	壺	昭和25年(1950)	121.2×84.9	第35回再興院展	茨城県近代美術館
28	清原 斉	宵	昭和30年(1955)	230.3×194.5	第40回再興院展	茨城県近代美術館
29	酒井三良	雪	昭和38年(1963)	74.0×105.0	第48回再興院展	茨城県近代美術館
30	小松 均	牡丹	昭和21年(1946)	282.5×214.5	第31回再興院展	茨城県近代美術館
31	片岡球子	春の富士(梅)	昭和63年(1988)	182.0×182.0	高島屋美術部創設80年記念 片岡球子展	茨城県近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	初出展	所蔵先
32	吉田善彦	浅間月明	昭和53年(1978)	162.1×130.3	第5回遊星展	個人
33	森田曠平	八丈のめならべ達	昭和34年(1959)	175.9×305.7	第44回再興院展	茨城県近代美術館
34	松尾敏男	五浦潮音	平成3年(1991)	各169.0×372.0	再興第74回院展(1989) ※六曲一双屏風の左隻のみ	茨城県近代美術館
35	平山郁夫	西域の千仏洞	昭和54年(1979)	113.0×162.0	昭和世代日本画展	国際交流基金
36	那波多目功一	待春	平成21年(2009)	165.0×278.0	再興第94回院展	茨城県近代美術館
37	福井爽人	星のオアシス	平成15年(2003)	165.0×285.0	再興第88回院展	個人
38	松本哲男	マチュピチュ	平成13年(2001)	220.0×500.0	再興第86回院展	茨城県近代美術館

特別展示

「横山大観の愛した五浦—小野金次旧蔵資料を中心に」

- **会期** 2021(令和3)年4月24日(土)～6月6日(日)
※現代院展のあゆみ展と同時開催
- **主催** 茨城県天心記念五浦美術館
- **協力** 小泉晋弥(茨城大学名誉教授)
※ポスター、チラシ、開催日数、入場者数、観覧料は現代院展のあゆみ展と同じ

● **出品点数** 20件

● **内容解説**

横山大観は明治39年(1906)、多賀郡大津町(現・北茨城市)五浦に移り住み、41年に邸宅が焼失するまで、短期間ではあったが、師の岡倉天心のもとと菱田春草ら同朋とともにこの地で絵の研鑽に励んだ。その後も、大観はすぐさま五浦に邸宅を再建し、以降別荘として度々足を運んだ。そんな大観の五浦での生活は、大津町の有力者であった小野金次が支えていた。当館では、

数年前より御遺族の協力のもと、小野金次の旧蔵資料を調査してきた。令和2年度には、本格的に調査を開始し、大観と五浦の関係を考える上で重要な資料の発見へと繋がった。

本展では、これまでの調査の成果発表という位置づけで、改めて大観と五浦、そして両者を繋いだ小野金次を紹介した。

● **担当** 塩田 稔(学芸員)

● **関連記事**

- ・大観の名品など展示 県五浦美術館 24日に全面再開
4月21日【茨城新聞】
- ・企画展で再スタート 北茨城 県天心記念五浦美術館
改修完了 24日から現代院展のあゆみ
4月21日【毎日新聞】
- ・五浦美術館 きょう再開 記念に企画展を開催
4月24日【読売新聞】

● **出品作品一覧**

No.	作者名	資料名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵先
1	横山大観	横山大観邸平面図	明治39年	紙、墨、彩色	24.1×32.8	茨城大学五浦美術文化研究所
	横山大観	再建横山大観邸平面図	明治42年頃	紙、墨、彩色	25.4×39.3	茨城大学五浦美術文化研究所
	横山大観	再建横山大観邸平面図	明治42年頃	紙、墨、彩色	27.8×35	茨城大学五浦美術文化研究所
2	横山大観	床の間透視図	明治40年	紙、墨、彩色	24.1×32.9	茨城大学五浦美術文化研究所
	横山大観	客間外観透視図	明治42年頃	紙、墨、彩色	25.4×39.4	茨城大学五浦美術文化研究所
3	横山大観	五浦スケッチ	明治42年頃	紙、墨、彩色	27.8×36	当館
4	横山大観	書簡・小野金次宛	明治41年	紙、墨、彩色	24.1×32.10	※
5	横山大観	書簡・横山大観宛	明治42年頃	紙、墨、彩色	25.4×39.5	※
	横山大観	書簡・石川倉吉宛	明治42年頃	紙、墨、彩色	27.8×37	※
6	横山大観	書簡・小野金次宛	明治42年	紙、墨、彩色	24.1×32.11	※
7	横山大観	書簡・小野金次宛	明治42年頃	紙、墨、彩色	25.4×39.6	※
8	横山大観	書簡・小野金次宛	明治42年頃	紙、墨、彩色	27.8×38	※
9	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和9年	紙、墨	18×63	※
10	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和10年	紙、墨	19×55.5	※
11	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和16年	紙、墨	21×15	※
12	横山大観	霊峰不二	昭和16年	絹本彩色、額装	36×94	北茨城市蔵
13		表彰状	昭和16年	紙・印刷、墨	33.2×45.4	※
14	横山大観	不二霊峰	昭和12～14年頃	紙本彩色、額装	34×48.2	※
15	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和16年	紙、墨	21×14.8	※
16	横山静子	葉書・小野金次宛	昭和16年	紙、墨	14×9	※
17	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和17年	紙、墨	各25.7×17.8	※
18	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和17年	紙、墨	各25.5×18.1	※
19	横山静子	書簡・小野金次宛	昭和17年	紙、墨	各23.3×16.3	※
20		除幕式案内状式次第	昭和17年	紙・印刷、墨	案内状:15.5×20.5 式次第:13.1×18.2	個人蔵

※は個人蔵(小野金次旧蔵資料)

筑波大学 日本画40年の軌跡

- 会期 2021(令和3)年6月12日(土)～7月18日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- 後援 筑波大学
- ポスター B2
- チラシ A4
- リーフレット A4 16頁
- 開催日数 32日間
- 入場者数 3,369人
- 観覧料 一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／
高大生210(150)円／小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
※土曜日は高校生以下無料
※6月12日(土)は満70歳以上無料

●出品点数 22点

●内容解説

昭和48年(1973)茨城県つくば市に開学した筑波大学に、芸術専門学群が設置されたのは、2年後の昭和50年のことである。この開設から程なくして日本画に関するカリキュラムの導入が検討され、創画会で活躍していた西村昭二郎(1927-1999)が教授として招かれた。そして昭和62年、同学群絵画コースから日本画コースが独立し、以来、茨城県内唯一の日本画の専門教育機関として、多数の画家や美術教師などを輩出してきた。

本展では日本画コースの歴任教員8名による作品を展示し、同大学の日本画教育の歩みとその現況を紹介した。8人の日本画家は教鞭を執りながら、それぞれ個性豊かな作品の創造者として活躍してきた。その作品はまた、昭和50年代より最先端の研究者が集う筑波研究学園都市の、地域性や時代の空気をも映していると言える。急速に変化を遂げる筑波の地で育まれてきた、瑞々しい日本画表現を紹介した。

●担当 井野功一(首席学芸員)

●YouTubeによる展覧会紹介

- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 程塚敏明氏 作品解説
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 程塚敏明氏 作品解説2
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 太田圭氏 作品解説
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 太田圭氏 作品解説2
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 太田圭氏 作品解説3
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 太田圭氏 作品解説4

●関連事業

担当学芸員による作品解説

日時 6月26日(土) 午後1時30分～2時

担当 井野功一(首席学芸員)

映画会 心象世界への彷徨 日本画家 藤田志朗の世界／
どこでもない場所 日本画家 程塚敏明

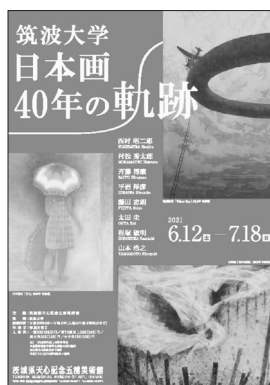
日時 7月4日(日) 午前10時30分～

●関連記事

- ・筑波大学日本画40年の軌跡 6月11日【読売新聞】
- ・筑波大学 日本画40年の軌跡 6月11日【毎日新聞】
- ・変遷する学園都市の空気 筑波大学 日本画40年の軌跡 県天心記念五浦美術館 歴代8教員の22点 6月20日【茨城新聞】



ポスター B2



チラシ A4



リーフレット

● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状等	初出展覧会
				寸法(縦×横)cm	所蔵
1	西村昭二郎 1927-1999	まひる野・草わたる	昭和36年 1961	紙本・彩色・四曲一双屏風 各152×303	第25回新制作展 茨城県近代美術館
2		風ひかる	昭和52年 1977	麻紙・膠・岩絵具・水干絵具・墨・金泥・額装 91×65	第3回春季創画展 筑波大学アート・コレクション
3	村松秀太郎 1935-2018	独鈷(どっこ)	平成2年 1990	紙本・彩色・額装 212×243	第17回創画展 茨城県近代美術館
4		蝦蟇、骸骨、おんな	平成3年 1991	雲肌麻紙・膠・岩絵具等・墨・箔等・額装 116.7×91	第17回春季創画展 筑波大学アート・コレクション
5	斉藤博康 1941-	悠	平成元年 1989	雲肌麻紙・膠・岩絵具・水干絵具・墨・金泥・銀泥・額装 100×100	第44回春の院展 筑波大学アート・コレクション
6		緑霧(りょくむ)	令和2年 2020	紙本・彩色・額装 170×200	再興第105回院展 作家蔵
7	平岩洋彦 1944-	黄昏碑(たそがれのひ)	昭和62年 1987	麻布・膠・岩絵具・水干絵具・墨・箔等・額装 159.8×180	第14回創画展 筑波大学アート・コレクション
8		連接	平成12年 2000	紙本・彩色・額装 227.3×363.6	個展(新宿パークタワー・ギャラリー1) 作家蔵
9	藤田志朗 1951-	夜航海	平成18年 2006	紙本・彩色・額装 181.8×227.3	第33回創画展 創画会賞 作家蔵
10		夢明(ゆめあかり)	平成22年 2010	紙本・彩色・額装 116.7×80.3	第36回春季創画展 作家蔵
11		月へ	平成28年 2016	紙本・彩色・額装 162×227.3	第43回創画展 作家蔵
12		水鏡	平成6年 1994	紙本・彩色・銀箔・水金箔・額装 181.8×227.3	第21回創画展 筑波大学アート・コレクション
13	太田 圭 1957-	ファンタジスタ 一幻視一	平成16年 2004	土佐麻紙・岩絵具・箔・和紙コラージュ等・額装 182×364.4	第10回星粒展 作家蔵
14		風の墓標 I	平成24年 2012	高知麻紙・岩絵具・銀箔・薄和紙・パネル・額装 181.8×227.3	第39回創画展 作家蔵
15		夏を行く	平成27年 2015	紙本・彩色・銀箔・額装 181.8×227.3	第42回創画展 作家蔵
16		景色 一再生する翼一	平成8年 1996	高知麻紙・膠・岩絵具・箔等・額装 182×227.3	第23回創画展 筑波大学アート・コレクション
17	程塚敏明 1965-	Yellow Sky	平成24年 2012	雲肌麻紙・膠・岩絵具・水干絵具・箔等・額装 227.3×136.7	第39回創画展 創画会賞 作家蔵
18		Fly Away	平成26年 2014	雲肌麻紙・膠・岩絵具・染料等・額装 136.3×227.3	第41回創画展 創画会賞 作家蔵
19		Departure	平成26年 2014	雲肌麻紙・膠・岩絵具・染料等・額装 136.3×227.3	第41回創画展 創画会賞 作家蔵
20		立つ	平成19年 2007	紙本・彩色・額装 100×100	第62回春の院展 作家蔵
21	山本浩之 1970-	白日	平成25年 2013	紙本・彩色・額装 215×170	再興第98回院展 作家蔵
22		咲う	平成29年 2017	紙本・彩色・額装 215×170	再興第102回院展 日本美術院賞(大観賞) 作家蔵

ひろがる墨—五彩に出会う

- **会期** 2021(令和3)年7月28日(水)～9月26日(日)
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月18日～9月19日まで臨時休館
- **主催** 茨城県天心記念五浦美術館
- **後援** 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会
- **ポスター** B2
- **チラシ** A4
- **図録** A4 変形 縦21×横27.5cm 72頁
- **開催日数** 25日間
- **入場者数** 2,811人
- **観覧料** 一般730(630)円／満70歳以上360(310)円／高大生520(420)円／小中生320(210)円
※()内は20名以上の団体料金
※夏休み期間を除く土曜日は高校生以下無料
※9月20日(月・祝)、21日(火)は満70歳以上無料

- **出品点数** 62点
- **内容解説**

中国より伝来した墨は日本の美術史に大きな影響を与え、近代以降も横山大観や竹内栖鳳をはじめとする多くの画家が墨に魅了され、各々が独自の視点で新しい表現に挑んできた。岡倉天心は代表的著作『The Book of Tea(茶の本)』の中で、「禅宗が水墨画を好んだのは、抽象を愛する心の表れである」と述べており、墨のもつ抽象性は、多様な表現や解釈を可能としたといえる。「墨に五彩あり」とされるように、墨は黒単色として捉えられるのではなく、墨の諧調が織り成す色合いは観る者の想像力を刺激して様々な色彩を感じ

させる。作品ごとに異なる墨色、にじみやぼかし、グラデーションを活かした様々な墨の表現と出会うことができる。

本展では、茨城県近代美術館の所蔵作品を中心に、日本で伝統的に用いられてきた墨に作家たちがどのように向き合ってきたのか、どのような表現が編み出されてきたのか、その多彩な墨の世界を紹介した。

● **担当** 塩田 稔雄(学芸員)

● **YouTubeによる展覧会紹介**

- ・天心記念五浦美術館「ひろがる墨」展示作業風景
- ・天心記念五浦美術館 企画展「ひろがる墨—五彩に出会う」
- ・企画展「ひろがる墨—五彩に出会う」会場紹介
- ・企画展「ひろがる墨—五彩に出会う」担当による作品紹介

● **関連事業**

展覧会担当学芸員による作品解説

日時 9月5日(日)、18日(土) 午後1時30分～2時
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
来て・見て・発見!アートツアー for kids

日時 8月7日(土)
午前10時～12時
午後1時30分～3時30分

リモートワークショップ「墨 de 和傘」作品展示

展示期間 7月28日(水)～11月23日(火)
※臨時休館をうけ展示期間を延長
茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート

日時 8月21日(土) 午前11時～
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
映画会 横山大観 その心とかたち

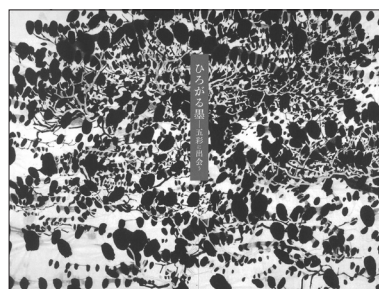
日時 9月12日(日) 午前10時30分～
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止



ポスター B2



チラシ A4



図録

●関連記事

- ・多彩な墨の表現見て 7月21日【福島民報】
- ・五彩に出会う水墨画展 28日から茨城・五浦美術館 7月24日【福島民友】
- ・水墨62点幅広い表現 あすから 大観や芋銭、雪村も 北茨城・県五浦美術館 7月27日【茨城新聞】
- ・水墨画 もっと身近に 五浦美術館で企画展 きょうから 雪村、大観作品など 7月28日【毎日新聞】

- ・墨の美しさと色彩に触れる 7月28日【東京新聞】
- ・表情自在 感じる色彩 県五浦美術館企画展 「ひろがる墨」振り返る 大観や芋銭作家の挑戦たどる 9月16日【茨城新聞】
- ・「ひろがる墨」展、あす再開 9月19日【茨城新聞】

●関連放送

- ・「いば6」 9月21日【NHK水戸放送局】

●出品作品一覧

1. 抽象への愛—岡倉天心と墨の時代

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法／発行	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	岡倉天心	山水の図	明治37年(1904)	絹本・墨画彩色・額装	80.7×27.4	個人蔵
2	岡倉天心	竹の図	明治37年(1904)	絹本・墨画彩色・額装	91.6×24	個人蔵
3	岡倉天心	漢詩「登慈雲寺偶感」	不詳	紙本・墨・軸装	122.5×32.5	当館
4	—	硯箱(伝岡倉天心寄贈)	不詳	箱：木・漆塗／蒔絵 硯：石	箱(蓋含む)： 23.5×18.0×3.7 硯： 10.5×6.8×1.4	当館
5	—	二見形文台	明治21年頃(c. 1888)	木	58.2×33.3	茨城大学
6	—	端溪荷葉硯	不詳	石	13.3×13.2	茨城大学
7	—	水盂	不詳	陶器	径7×高5.5	茨城大学
8	—	筆立	不詳	銅	幅4.2×奥行3.7	茨城大学
9	—	東京美術学校課題画				
9-1	下村晴三郎 (観山)	線	明治20年代	紙本・墨画	19.8×27.5	当館
9-2	下村晴三郎 (観山)	写生(燕)	明治20年代	紙本・墨画	24.0×32.0	当館
9-3	筆谷儀三郎 (等観)	臨画(出山釈迦、梁楷)	明治20-30年代	紙本・墨画	63.0×46.0	当館
9-4	岡又太郎 (吉寿・不崩)	新案(新年試筆)	明治20年代	紙本・墨画	62.5×45.5	当館
10-1	岡倉天心賛助 ・川端玉章編画	『帝国毛筆新画帖』前編 第7巻	明治27年(1894)	三省堂発行	17.6×24.7	茨城大学
10-2	岡倉天心賛助 ・川端玉章編画	『帝国毛筆新画帖』後編 第2巻	明治27年(1894)	三省堂発行	17.6×24.7	茨城大学
参考1	岡倉天心	茶の本	明治39年(1906)	Duffield & Company, NEW YORK発行	19.5×11.9	個人蔵
参考2	—	『絵画叢誌』第158巻	明治33年(1900)	絵画叢誌発行	26.2×15.0	当館

2. 筆の動きを感じて—筆墨の美

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
11	奥原晴湖	山水之図	明治33年(1900)	絹本・墨画・軸装	126.5×50.8	茨城県近代美術館
12	猪瀬東寧	秋景山水図	明治35年(1902)	絹本・墨画・軸装	135.4×56.7	茨城県近代美術館
13	松本楓湖	素盞鳴尊	大正初期	絹本・彩色・軸装	115.3×41.2	茨城県近代美術館
14	川端玉章	早春晚秋山水	明治40年(1907)	絹本・淡彩・軸装 (対幅)	各110.5×41.0	茨城県近代美術館
15	飛田周山	振威八荒	昭和19年(1944)	紙本・墨画淡彩・軸装	79.0×90.3	個人蔵
16	富田溪仙	長江鶴船	大正8年頃(c. 1919)	紙本・淡彩・屏風 (六曲一双)	各171.0× 361	茨城県近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
17	今村紫紅	牧童	明治44年頃(c. 1911)	紙本・墨画・軸装	148.0×46.0	茨城県近代美術館
18	小杉未醒	田家訪客	大正10年頃(c. 1921)	絹本・彩色・屏風 (二曲一隻)	119.4×112.8	茨城県近代美術館
19	森田恒友	初夏湖畔	大正末～昭和初期	紙本・淡彩・軸装	46.1×55.8	茨城県近代美術館
20	森田恒友	晚帰	大正末～昭和初期	紙本・墨画淡彩・軸装	40.7×50.5	茨城県近代美術館
21	安田鞞彦	鴨川夜情	昭和7年(1932)	紙本・墨画彩色・額装	87.5×119.7	茨城県近代美術館
22	速水御舟	寒林	大正14年(1925)	絹本・彩色・軸装	27.8×39.1	茨城県近代美術館
23	木村崋邦	白樺湖	昭和44年(1969)	紙本・墨画・額装	210.5×146.5	茨城県近代美術館
24	鈴木草牛	阿蘇	昭和48年(1973)	紙本・墨画・額装	121.5×181.8	茨城県近代美術館
25	佐藤多持	水芭蕉曼陀羅 黄17	昭和44年(1969)	紙本・彩色・屏風 (二曲一隻)	161.5×181.6	茨城県近代美術館

3. にじむ／ぼかす／たらしこむ

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
26	竹内栖鳳	水郷	昭和16年(1941)	紙本・墨画・軸装	50.0×67.0	茨城県近代美術館
27	佐川華谷	富嶽図	昭和15年(1940)	絹本・墨画・額装	80.0×183.0	茨城県近代美術館
28	西郷孤月	怒涛、瀑布	明治33年頃(c. 1900)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各116.2×50.3	茨城県近代美術館
29	木村武山	夜桜	明治45～大正2年頃(c. 1912～13)	絹本・彩色・軸装	131.0×49.5	個人蔵
30	平福百穂	早梅	昭和2～3年頃(c. 1927～28)	絹本・彩色・軸装	138.6×41.8	茨城県近代美術館
31	五島耕畝	当年の覇者	昭和27年(1952)	絹本・彩色・額装	83.0×86.0	茨城県近代美術館
32	前田青邨	鵜飼	昭和8年頃(c. 1933)	紙本・彩色・額装	51.0×155.0	茨城県近代美術館
33	堅山南風	雨後	昭和13年(1938)	絹本・墨画淡彩・額装	118.0×133.0	茨城県近代美術館
34	酒井三良	海	昭和27年(1952)	紙本・墨画・額装	93.0×123.0	茨城県近代美術館
35	稗田一穂	潮音那智	昭和60年(1985)	紙本・彩色・額装	100.0×72.5	茨城県近代美術館

4. 中近世の水墨画—雪村と水戸南画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
36	雪村周継	敗荷鶴鴿図	室町時代	紙本・墨画・軸装	31.2×44.2	茨城県立歴史館
37	雪村周継	百馬図帖	室町時代	紙本・墨画・画帖	41.2×26.5(ほか)	鹿島神宮
38	林十江	樹間達磨図	江戸時代	紙本・墨画・軸装	119.7×45.7	茨城県立歴史館
39	立原杏所	高山流水図	天保8年(1837)	紙本・淡彩・軸装	131.5×57.0	茨城県立歴史館

5. 墨への憧憬—大観と芋銭

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
40	横山大観	風雪に鷺	明治37年(1904)	絹本・墨画彩色・額装	87.1×49.8	個人蔵
41	横山大観	朝霧	昭和9年(1934)	紙本・墨画淡彩・屏風 (六曲一双)	各173.0×368.0	茨城県近代美術館
42	横山大観	月満山	昭和12年(1937)	紙本・墨画・軸装	65.4×99.3	茨城県近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
43	小川芋銭	水草絵巻	大正7年(1918)	紙本・墨画・卷子	29.3×809.0	茨城県近代美術館
44	小川芋銭	三万六千日	昭和3年頃(c.1928)	紙本・墨画淡彩・屏風(六曲一隻)	103.0×271.2	茨城県近代美術館
45	小川芋銭	春風秋月	昭和3年頃(c.1928)	紙本・墨画淡彩・屏風(六曲一隻)	103.0×271.2	茨城県近代美術館
46	小川芋銭	海島秋来	昭和7年(1932)	紙本・墨画淡彩・軸装	112.0×95.6	茨城県近代美術館
参考3		硯(伝横山大観寄贈)	不詳	石	13.5×9.5×高さ1.3	当館
参考4	横山大観	『絵画叢誌』第158巻	昭和5年(1930)	紙、墨、用箋和綴	24.0×16.5	当館

6. ひろがる墨—「日本画」を超えて

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
47	岸田劉生	生家の囃(楽善堂)	昭和3年頃(c.1928)	墨・紙・額装	14.7×19.7	茨城県近代美術館
48	木内克	裸婦	昭和32年(1957)	墨・紙・額装	26.2×36.9	茨城県近代美術館
49	木内克	裸婦像	昭和38年(1963)	テラコッタ	19.0×20.0×高さ11.0	茨城県近代美術館
50	安藤信哉	静物	昭和55年頃(c.1980)	紙本・墨画淡彩・額装	86.0×122.0	茨城県近代美術館
51	棟方志功	舍利弗の柵<釈迦十大弟子>	昭和14年(1939)	木版・墨刷り・紙・軸装	91.0×31.0	茨城県近代美術館
52	吉原治良	無題 黒の上の赤	昭和44年(1969)	シルクスクリーン・額装	55.5×75.0	茨城県近代美術館
53	松本竣介	鉄橋近く	昭和18年(1943)	鉛筆・墨・紙・額装	32.7×58.0	茨城県近代美術館
54	井田照一	Penetration/ Evaporation p-27	平成15年(2003)	水彩・墨・顔料・紙(5点組)・額装	各33.5×33.5	茨城県近代美術館

7. 墨に挑む

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
55	園家誠二	うつろい-1	平成20年(2008)	雲肌麻紙、岩絵具、アクリルガッシュ、墨	47.0×650.0	作家
56	園家誠二	月光-春-	平成30年(2018)	雲肌麻紙、墨、水干、アクリルガッシュ	150.0×90.0	作家
57	間島秀徳	Kinesis No. 211	平成16年(2004)	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	160.0×460.0	個人蔵
58	間島秀徳	Kinesis No. 215	平成16年(2004)	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	直径200.0	個人蔵
59	浅見貴子	Matsu 20	平成17年(2005)	白麻紙、墨、胡粉、樹脂膠、パネル装	250.0×340.0	作家
60	浅見貴子	柿の木 3	平成21年(2009)	麻紙、墨、胡粉、膠、樹脂膠、パネル装	265.0×203.0	作家
61	久保木桂子	まなざし	平成24年(2012)	雲肌麻紙、墨、胡粉、アルミ粉、銀泥、棒絵具	162.5×162.5	作家
62	久保木桂子	意識の反転	平成27年(2015)	麻紙、油煙墨、雲母、胡粉(2点組)	各91.0×91.0	作家

美 — 響く — コレクション名品選

- **会期** 2021(令和3)年10月3日(日)～11月23日(火・祝)
- **主催** 茨城県天心記念五浦美術館
- **後援** 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会
- **ポスター** B2
- **チラシ** A4
- **リーフレット** 縦20×横21cm 16頁
- **開催日数** 44日間
- **入場者数** 6,583人
- **観覧料** 一般730(630)円／満70歳以上360(310)円／高大生520(420)円／小中生320(210)円
 ※()内は20名以上の団体料金
 ※11月13日(土)は茨城県民の日のため全員無料
 ※土曜日は高校生以下無料
 ※10月9日(土)は満70歳以上無料

● **出品点数** 75点

● **内容解説**

茨城県近代美術館の所蔵作品および寄託作品に加え、茨城県陶芸美術館所蔵の工芸作品を含む近現代美術の名品全75点を精選して紹介した。特に、岡倉天心の指導のもと制作された横山大観「流燈」、木村武山「阿房劫火」といった五浦で描かれた代表作の他、中村彝の洋画や、板谷波山の陶芸など茨城ゆかりの作家に加え、岸田劉生・佐伯祐三・藤田嗣治らの洋画、さらに、京都画壇の村上華岳・小野竹喬らの日本画や、戦後活躍した堂本尚郎・白髪一雄・八木一夫ら関西出身の作家による前衛作品などで構成した。

● **担当** 松尾敦子(主任学芸員)

● **YouTubeによる展覧会紹介**

・天心記念五浦美術館展覧会紹介「美—響く—コレクション名品選」

● **関連事業**

展覧会担当学芸員による作品解説

日時 10月24日(日)・11月6日(土)

各日午後1時30分～2時

担当 松尾敦子(主任学芸員)

第32回トワイライトコンサート「オーボエとピアノの調べ」

出演 山田涼子(オーボエ奏者)

宇根美沙恵(ピアノ伴奏)

日時 10月16日(土) 午後5時～6時

会場 エントランスロビー

来て・見て・発見！アートツアー for kids

日時 11月21日(日)

午前10時～12時

午後1時30分～3時30分

リモートワークショップ①「墨 de 和傘」作品展示

リモートワークショップ②「オリジナルかけじくをつくろう！」

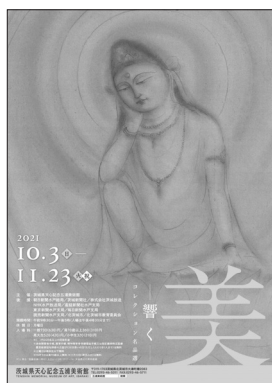
活動期間 10月1日(金)～10月22日(金)

映画会 作家をたずねて 松井康成

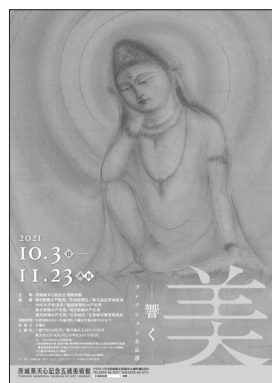
日時 11月14日(日) 午前10時30分～

● **関連記事**

- ・近現代の名品一堂に 10月2日【茨城新聞】
- ・美—響く—コレクション名品選 10月2日【読売新聞】
- ・美—響く—コレクション名品選 10月2日【朝日新聞】
- ・美—響く—コレクション名品選 10月8日【毎日新聞】
- ・さまざまなジャンルを堪能 10月9日【産経新聞】
- ・ジャンル超え名品選 五浦美術館で75点展示 10月9日【毎日新聞】



ポスター B2



チラシ A4



図録

● 出品作品一覧

1. 日本画(明治～平成時代)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	下村観山	大原之露	明治33年(1900)	絹本・彩色・軸装	248×171	茨城県近代美術館
2	木村武山	阿房劫火	明治40年(1907)	絹本・彩色・軸装	141×240.8	茨城県近代美術館
3	横山大観	流燈	明治42年(1909)	絹本・彩色・軸装	143.1×51.5	茨城県近代美術館
4	菱田春草	落葉	明治42年(1909)	絹本・彩色・屏風二曲一双	152.8×151.8	茨城県近代美術館
5	川合玉堂	漁村早春、秋溪帰馱	大正2年頃 (c. 1913)	絹本・彩色・軸装・対幅	各36×55.8	茨城県近代美術館
6	小茂田青樹	乙艦帰帆	大正4年(1915)	絹本・彩色・軸装	56.5×86.5	茨城県近代美術館
7	速水御舟	洛外六題 宇治(習作)	大正6年(1917)	絹本・彩色・額装	42×100	茨城県近代美術館
8	近藤浩一路	房州天津	大正7年(1918)	紙本・墨画・卷子	16.5×539	茨城県近代美術館
9	村上華岳	菩薩座像	大正6-13年 (1917-24)	絹本・彩色・軸装	130.9×41.8	茨城県近代美術館
10	小野竹喬	武陵桃源	大正7年頃 (c. 1918)	絹本・彩色・屏風六曲一双	各164.0× 373.5	茨城県近代美術館
11	榊原紫峰	雪中孤鹿之図	大正10年(1921)	絹本・彩色・軸装	146.1×51.2	茨城県近代美術館
12	小杉未醒	楽人と踊子	大正10年頃 (c. 1921)	紙本・金地・彩色・屏風二 曲一双	各168×166	茨城県近代美術館
13	小林古径	少女	大正13年頃 (c. 1924)	絹本・彩色・軸装	129.0×41.9	茨城県近代美術館
14	長山はく	罌粟	大正14年(1925)	絹本・彩色・屏風二曲一隻	169×169.4	茨城県近代美術館
15	小川芋銭	畑のお化け	昭和4年(1929)	絹本・彩色・軸装	42.2×57.5	個人蔵
16	小川芋銭	眼食帖(12帖)	昭和12年頃 (c. 1937)	絹本・淡彩・画帖12点	各28×34.2	茨城県近代美術館
17	鐺木清方	明鏡	昭和6年(1931)	絹本・彩色・軸装	125.5×36.0	茨城県近代美術館
18	鐺木清方	夏の女客	昭和8年(1933)	絹本・彩色・軸装	129.7×42.3	茨城県近代美術館
19	安田靱彦	羅浮仙	昭和10年頃 (c. 1935)	絹本・彩色・軸装	129.5×50.8	茨城県近代美術館
20	酒井三良	汀	昭和36年(1961)	紙本・彩色・額装	103×133	茨城県近代美術館
21	小林巢居人	づくの宿	昭和36年(1961)	絹本・彩色・額装	78×52	茨城県近代美術館
22	麻田鷹司	竹生島図	昭和48年(1973)	紙本彩色・額装	182×176	国際交流基金
23	那波多目功一	月輪	平成2年(1990)	紙本・彩色・額装	225×180	茨城県近代美術館
24	森田曠平	波止場	平成6年(1994)	紙本・彩色・額装	89.2×40.7	茨城県近代美術館
25	箱崎睦昌	佐渡	平成24年(2012)	麻紙・黒箔・墨・顔料・屏 風六曲一隻	175×540	茨城県近代美術館

2. 洋画・抽象画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
26	五百城文哉	袋田の滝	明治25年頃 (c. 1892)	油彩・麻布・額装	72×49	茨城県近代美術館
27	中村 彝	裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	99.8×80.5	茨城県近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
28	岸田劉生	窓外夏景	大正10年(1921)	油彩・麻布・額装	38×45.5	茨城県近代美術館
29	岸田劉生	籠中脂香	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	32.1×33.5	茨城県近代美術館
30	梅原龍三郎	裸婦図	大正11年頃 (c. 1922)	油彩・麻布・額装	117×91	茨城県近代美術館
31	古賀春江	卓上静物	大正13年頃 (c. 1924)	油彩・麻布・額装	72.7×60.6	茨城県近代美術館
32	佐伯祐三	コルドヌリ(靴屋)	大正14年頃 (c. 1925)	油彩・麻布・額装	54×47	茨城県近代美術館
33	小出楯重	糸の束	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	53×72.8	茨城県近代美術館
34	藤田嗣治	横たわる裸婦	昭和2年(1927)	油彩・麻布・額装	81×100	茨城県近代美術館
35	里見勝蔵	女	昭和5年頃 (c. 1930)	油彩・麻布・額装	74×100	茨城県近代美術館
36	鳥海青児	闘牛	昭和7年(1932)	油彩・麻布・額装	97×181	茨城県近代美術館
37	小磯良平	二人裸婦	昭和31年頃 (c. 1956)	油彩、パステル等・紙・額装	55.5×70.5	茨城県近代美術館
38	山口長男	圍繞	昭和31年(1956)	油彩・板・額装	184×184	茨城県近代美術館
39	山口 薫	雪原	昭和33年(1958)	油彩・麻布・額装	53×65	茨城県近代美術館
40	三岸節子	エッフェル塔	昭和60年(1985)	油彩・麻布・額装	110×110	茨城県近代美術館
41	木村忠太	プロヴァンス地方の家	昭和62年(1987)	油彩・麻布・額装	130×162	茨城県近代美術館
42	佐藤忠良	帽子	昭和56年(1981)	ブロンズ	38.5×28.0×30.0	茨城県近代美術館

3. 茨城ゆかりの美術

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
43	木内 克	女の顔	昭和4年(1929)	テラコッタ	35.5×23×36	茨城県近代美術館
44	小堀 進	驟雨	昭和22年(1947)	水彩・紙・額装	58×88	茨城県近代美術館
45	小堀 進	大正池	昭和27年(1952)	水彩・紙・額装	66.7×100.2	茨城県近代美術館
46	鬮嘸	虹	昭和37-39年 (1962-64)	油彩・麻布・額装	172.5×365.3	茨城県近代美術館
47	鬮嘸	Rainbow Landscape 1 Rainbow Volcano	昭和49年(1974)	シルクスクリーン・紙・額装	72.5×51.1	茨城県近代美術館
48	鬮嘸	Rainbow Landscape 2 Rainbow Mt. Fuji	昭和49年(1974)	シルクスクリーン・紙・額装	72.5×51	茨城県近代美術館
49	鬮嘸	Rainbow Landscape 3 Rainbow Mr. & Mrs. Rainbow Gymnastic	昭和49年(1974)	シルクスクリーン・紙・額装	72.5×51.0	茨城県近代美術館
50	鬮嘸	Rainbow Landscape 4 Rainbow Finger Box	昭和49年(1974)	シルクスクリーン・紙・額装	66.0×51.2	茨城県近代美術館
51	鬮嘸	Rainbow Landscape 5 Rainbow Well, Well, Well	昭和49年(1974)	シルクスクリーン・紙・額装	72.5×51	茨城県近代美術館
52	村山 密	シャンゼリゼ	平成元年(1989)	油彩・麻布・額装	150×150	茨城県近代美術館
53	立見榮男	河童華々	平成15年(2003)	アクリル・綿布・額装	91×117	茨城県近代美術館

4. 関西ゆかりの前衛美術

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
54	堂本尚郎	「1959-5」	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	200×271	茨城県近代美術館
55	吉原英雄	訪問者	昭和44年(1969)	リトグラフ・紙	54×39	茨城県近代美術館
56	堀内正和	うらおもてのない帯 (メビウスの帯)	昭和52年(1977)	ステンレス・スチール	175×115×60	茨城県近代美術館
57	八木一夫	理解すること	昭和52年(1977)	陶磁	左：21.9×20.8 ×15 右：23.5×30.8 ×15.5	茨城県陶芸美術館
58	鈴木 治	馬形	昭和53年(1978)	陶磁	70.2×29.2× 29.2	茨城県陶芸美術館
59	白髪一雄	普門品 雲雷鼓掣電	昭和55年(1980)	油彩・麻布・額装	194×253	茨城県近代美術館
60	山本容子	Side by Side	昭和55年(1980)	エッチング・アクアチン ト・紙	45×59.6	茨城県近代美術館
61	山本容子	Old fashioned Love Song	昭和55年(1980)	エッチング・アクアチン ト・紙	45×60	茨城県近代美術館
62	山本容子	fish and chips	昭和55年(1980)	エッチング・アクアチン ト・紙・額装	45×59.3	茨城県近代美術館
63	井田照一	Garden Project—Locus Sutra—Descended Triangle—Well from Karma No. 3	昭和63年(1988)	ミクストメディア：型取 りした泥染紙、両面に水 彩とスクラッチ・紙(コ ウゾ紙)	121×146×9	茨城県近代美術館

5. 茨城ゆかりの工芸

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
64	板谷波山	彩磁印甸亜文花瓶	大正5年(1916)	陶磁	H32.8×24.5	茨城県陶芸美術館
65	板谷波山	葆光彩磁葡萄紋様花瓶	大正11年(1922)	陶磁	H15.9×21.6	茨城県陶芸美術館
66	板谷波山	彩磁延壽文花瓶	昭和初期	陶磁	H21.1×23.1	茨城県陶芸美術館
67	板谷波山	観音聖像	昭和38年(1963)	陶磁	H20.4×15.2	茨城県陶芸美術館
68	松井康成	練上線文大鉢	昭和48年(1973)	陶磁	H20.1×45.6	茨城県陶芸美術館
69	松井康成	練上花器 新樹の森	昭和48年(1973)	陶磁	H38.3×24.8	茨城県陶芸美術館
70	松井康成	練上嘯裂文大壺	昭和54年(1979)	陶磁	H39.1×38.5	茨城県陶芸美術館
71	松井康成	練上刻彫陶管	昭和60年(1985)	陶磁	H15.9×25.8× 21.3	茨城県陶芸美術館
72	十河慶子	結城紬着物「夕波」	昭和63年(1988)	染織	176×134	茨城県陶芸美術館
73	十河慶子	結城紬着物「赤香格子 散らし」	平成11年(1999)	染織	168×130.5	茨城県陶芸美術館
74	十河慶子	結城紬着物「星七宝文」	平成17年(2005)	染織	173×122	茨城県陶芸美術館
75	十河慶子	結城紬着物「月夕」	平成26年(2014)	染織	169×131	茨城県陶芸美術館

いにしえを描く

●**会期** 2021(令和3)年12月4日(土)～2022(令和4)年2月6日(日)

●**主催** 茨城県天心記念五浦美術館

●**ポスター** B2

●**チラシ** A4

●**リーフレット** A4 16頁

●**開催日数** 53日間

●**入場者数** 5,904人

●**観覧料** 一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／
高大生210(150)円／小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
※土曜日は高校生以下無料(12月25日は除く)

●**出品点数** 23点

●**内容解説**

日本画は、明治期以降、時代の波にもまれながらその伝統を守りつつ変革を繰り返し現代に至った。その中で「歴史画」は、日本画の主要なテーマの一つとして多くの画家たちによって継承され、描かれてきた。明治維新の急激な欧化政策が落ち着き始め、伝統復帰の兆しがみえた頃、岡倉天心らが、「歴史画」の重要性を説いた。これらをきっかけに、各展覧会には歴史に取材した作品が多く出品され、秀作が数多く生まれた。

戦後は、戦意高揚に寄与したことや民主化を目指す風潮から歴史画は低迷期を迎えたが、安田靉彦、前田青邨といった日本美術院を支えた重鎮たちやその弟子たちによって、その後も熱心な研究がなされた。

本展では、河鍋暁斎、松本楓湖から、下村観山、木村武山、安田靉彦など日本美術院等で活躍した画家たちの作品を通して、歴史画の変遷と魅力を紹介した。

●**担当** 村木正英(主査)

●**関連事業**

担当職員による作品解説

日時 12月18日(土)・令和4年1月16日(日)

各日 午後1時30分～2時

担当 村木正英(主査)

新春邦楽コンサート「五浦で聴く、箏の調べ」

出演 江川紗英(箏奏者)

日時 令和4年1月29日(土) 第1部 午前11時～
第2部 午後2時～

会場 講堂

映画会 「日本画家 小川芋銭の世界」ー芋銭の河童か、
河童の芋銭かー

日時 12月5日(日) 午前10時30分～

●**関連記事**

・歴史画にクローズアップ

11月25日【よみうりタウンニュース】

・歴史画の名作、一堂に 12月3日【茨城新聞】

・いにしえを描く 12月10日【産経新聞】

・いにしえを描く 12月10日【読売新聞】

・神話や宗教説話題材の日本画展
12月19日【読売新聞】

・近代日本画家たちの描いた「歴史画」
1月9日【東京新聞】

・歴史画の歩みと魅力 1月17日【茨城新聞】

・歴史画の多彩な表現堪能 1月22日【産経新聞】



ポスター B2



チラシ A4



リーフレット

● 出品作品一覧

1. 道釈人物画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	桜井華陵	竹林七賢	制作年不詳	絹本・彩色・軸装	125.7×61.3	個人蔵
2	下村観山	竹林七賢図	大正4年頃 (c. 1915)	絹本・彩色・六曲一双屏風	各169.0×374.0	茨城県近代美術館
3	下村観山	布袋	大正5年(1916)	絹本・彩色・軸装	121.9×51.0	個人蔵
4	小川芋銭	黄初平	大正12年(1923)	絹本・彩色・軸装	59.5×84.5	茨城県近代美術館
5	小川芋銭	石非羊	大正15年(1926)	紙本・淡彩・軸装	134.0×67.3	個人蔵

2. 歴史・物語

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
6	松本楓湖	高津聖詠	制作年不詳	絹本・彩色・軸装	116.6×48.3	個人蔵
7	木村武山	熊野	明治35年(1902)	絹本・彩色・軸装	144.0×240.0	茨城県近代美術館
8	木村武山	曾我兄弟	明治39-40年頃 (c. 1906-07)	絹本・彩色・軸装	120.5×49.7	個人蔵
9	小林古径	祿	明治41年(1908)	絹本・彩色・軸装	152.3×70.8	茨城県近代美術館
10	野田九浦	天平美人	大正8年(1919)	絹本・彩色・軸装	126.2×41.7	個人蔵
11	安田靱彦	源氏若紫	昭和8年(1933)	絹本・彩色・軸装	130.6×50.7	茨城県近代美術館
12	前田青邨	江島詣	昭和10-12年頃 (c. 1935-37)	絹本・彩色・軸装	139.0×51.3	茨城県近代美術館
13	太田聴雨	西郷南洲と橋本景岳	昭和18年頃 (c. 1943)	紙本・彩色・額装	139.0×176.0	茨城県近代美術館
14	羽石光志	宇治川	昭和39年(1964)	紙本・彩色・額装	200.2×242.4	個人蔵
15	森田曠平	雨月物語(浅茅ヶ宿)				
		(1) 別離	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	48.7×134.3	個人蔵
		(2) 木曾の神坂	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	47.8×121.8	個人蔵
		(3) 閨怨	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	48.9×121.8	個人蔵
		(4) 戦乱	昭和52年(1977)	紙本・彩色・額装	48.6×122.9	個人蔵
		(5) 帰郷	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	48.7×469.9	個人蔵
16	森田曠平	さすらい(森上郎)	昭和63年(1988)	紙本・彩色・額装	120.0×80.0	個人蔵
17	小山 硬	天草 慈光	平成16年(2004)	紙本・彩色・四曲一隻屏風	167.0×340.0	茨城県近代美術館

3. 仏画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横)cm	所蔵
18	河鍋暁斎	羅漢図	明治15年(1882)	紙本・彩色・軸装	176.4×74.3	個人蔵
19	木村武山	出山之釈迦	明治45-大正3年頃 (c. 1912-14)	絹本・彩色・軸装	117.3×55.0	個人蔵
20	木村武山	不動明王	大正4-5年頃 (c. 1915-16)	絹本・彩色・軸装	137.7×55.5	個人蔵
21	木村武山	法然上人	大正6年(1917)	絹本・彩色・軸装	166.5×82.4	茨城県近代美術館
22	鎌倉秀雄	誘惑	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	179.0×222.5	茨城県近代美術館
23	畠中光享	仏陀とアングリマーラ —私はとどまっているのに 汝は歩いていると言う—	平成17年(2005)	絹本・彩色・六曲一隻屏風	172.0×380.0	茨城県近代美術館

おいでよ！花鳥画の世界

- 会期** 2022(令和4)年2月11日(金・祝)～4月17日(日)
- 主催** 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター** B2
- チラシ** A4
- リーフレット** A5 16頁
- 開催日数** 57日間(令和3年度は42日間)
- 入場者数** 4,543人
- 観覧料** 一般420(370)円／満70歳以上210(180)円／
高大生210(160)円／小中生160(100)円
※()内は20名以上の団体料金
※春休み期間を除く土曜日は高校生以下
無料
※2月12日(土)は満70歳以上無料
- 出品点数** 27点
- 内容解説**

四季折々の花の美しい形や香り、鳥たちの愛らしいしぐさや心地よい鳴き声は、古来より人の心を潤してきた。美しい動植物をモチーフに、生命感あふれる表現がなされた花鳥画は、いつの時代も観る者を惹きつける魅力がある。東洋画の主要ジャンルとして確立した花鳥画は、日本の四季の中で生まれ、近代以降は西洋写実表現の影響や画家の個性が重要視されるなど、新たな展開を見せている。

本展では、五浦の作家の一人である木村武山をはじめ、近代日本画における花鳥画の分野で活躍した荒木十畝、五島耕畝、永田春水ら荒木寛畝に師事した作家たち、院展作家で現代日本画壇を牽引する那波多目功一や西田俊英など茨城県近代美術館所蔵作品を主とした花鳥画作品27点を展示した。表現の多様さと動植物に向けられた画家の眼差しを通して、時代を隔てても変わることのない魅力的な花鳥画の世界を紹介した。

- 担当** 木内智美(主任学芸主事)

●YouTubeによる展覧会紹介

- ・茨城県天心記念五浦美術館 展覧会紹介

●関連事業

担当職員による作品解説

日時 2月27日(日)・3月19日(土)

各日午後1時30分～2時

担当 木内智美(主任学芸主事)

●関連記事

- ・四季の花鳥画27点 県五浦美術館企画展開催
近代の代表作家作品 2月12日【茨城新聞】
- ・多様な表現 まなざし感じて 3月19日【産経新聞】
- ・「かわいい」に注目 県内3展覧会 愛らしい花鳥画
3月21日【茨城新聞】

●同時開催

特別展示 完成披露 旧岡倉天心邸書齋復元障壁画



ポスター B2



チラシ A4



リーフレット

● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	形状・材質	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	奥原晴湖	富貴飛燕、芙蓉翡翠	明治28年(1895)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各131×42.7	茨城県近代美術館
2	大橋翠石	猛虎之図	明治後期	絹本・彩色・軸装	83.5×115.5	個人
3	荒木十畝	怒濤猛鷲	制作年不詳	絹本・彩色・軸装	185×87.1	個人
4	木村武山	秋草図屏風	大正5-6年頃 (c. 1916-17)	紙本・金地彩色・六曲一双屏風	各166.5×373.2	個人
5	木村武山	群鶴(其一)	大正13年(1924)	絹本・彩色・六曲一双屏風	各173.6×372.6	個人
6	木村武山	烏骨鶏	昭和8年(1933)	絹本・彩色・二曲一隻屏風	170×170	茨城県近代美術館
7	五島耕畝	孔雀乃図	制作年不詳	絹本・彩色・軸装	140.2×50.8	個人
8	永田春水	萬年孔雀図	昭和12年頃 (c. 1937)	絹本・金地・彩色・二曲一双屏風	各171×172	茨城県近代美術館
9	永田春水	春暉曉艶	大正15年(1926)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各210×165	茨城県近代美術館
10	永田春水	春光濼々	大正15年(1926)	絹本・彩色・額装	239×140	茨城県近代美術館
11	小林巢居人	春雪	昭和52年(1977)	紙本・彩色・額装	72.5×99.5	茨城県近代美術館
12	児玉希望	林檎花	大正15年(1926)	絹本・彩色・二曲一隻屏風	197×210	茨城県近代美術館
13	山口華楊	春盡	昭和56年(1981)	紙本・彩色・額装	91×65	国際交流基金
14	上村松篁	桃花	昭和56年(1981)	紙本・彩色・額装	81×116	国際交流基金
15	杉山 寧	百合	制作年不詳	絹本・彩色・額装	47.8×57.1	個人
16	佐藤多持	水芭蕉に関する作品2	昭和33年(1958)	紙本・彩色・額装	72.3×52.5	茨城県近代美術館
17	鎌倉秀雄	耀	平成10年(1998)	紙本・彩色・額装	180.3×226.5	茨城県近代美術館
18	小林恒岳	蓮池(雲流れる)	昭和50年(1975)	紙本・彩色・額装	180×210	茨城県近代美術館
19	小林恒岳	翔	昭和56年(1981)	紙本・彩色・額装	111×161.5	茨城県近代美術館
20	小谷津雅美	夏悠悠	平成14年(2002)	紙本・彩色・額装	152.3×220.2	茨城県近代美術館
21	那波多目功一	惜春	平成19年(2007)	紙本・彩色・額装	217×172	個人
22	那波多目功一	寂光	平成25年(2013)	紙本・彩色・額装	186×250	茨城県近代美術館
23	重岡良子	薰白梅・華紅梅	平成25年(2013)	紙本・彩色・二曲一双屏風	各156.3×180.6	茨城県近代美術館
24	西田俊英	華孔雀	平成15年(2003)	紙本・彩色・額装	182×364	個人
25	松本祐子	月の雫	平成7年(1995)	紙本・彩色・額装	178×227	茨城県近代美術館
26	フジイフランソワ	オオゲツヒメノカミ	平成24年(2012)	和紙・鉛筆・銀箔・ルイボ スティー・顔彩・胡粉・膠・ 水彩絵具・墨汁・額装	180×85	茨城県近代美術館
27	田中 武	「噂」 ～十六恥漢図シリーズ～	平成27年(2015)	麻紙・水干絵具・岩絵具 ・アクリル・墨・額装	194.5×130.5	茨城県近代美術館

特別展示 「完成披露 旧岡倉天心邸書齋復元障壁画」

●会期 2022(令和4)年2月11日(金・祝)～4月17日(日)

●主催
●協力

※おいでよ！花鳥画の世界展と同時開催
茨城県天心記念五浦美術館

荒井経(東京藝術大学大学院美術研究科教授)

※ポスター、チラシ、開催日数、入場者数、観覧料は、おいでよ！花鳥画の世界展に同じ

●出品点数 2件

●内容解説

明治38(1905)年に建てられた五浦の岡倉天心邸は、現在、茨城大学五浦美術文化研究所により管理されている。しかし、当時の建造物が全て残っているわけではなく、天心没後の改築によって、天心書齋、それに隣接する基子夫人の居室が取り壊された。旧天心邸を知る者たちの証言によれば、かつてこの空間は横山大観、菱田春草の手による障壁画が飾られていたとされるが、今日では一部の付書院板絵(茨城大学五浦美術文化研究所蔵)を除き散逸している。

当館では、数年前よりこの障壁画の復元を計画し、令和2(2020)年よりプロジェクトを本格始動させた。復元に向けての足がかりとなったのは、近年発見され

た障壁画の小下図(個人蔵)である。障壁画は杉や竹を描いたものであったという当時の証言と、小下図のモチーフが一致し、また現存する付書院欄間絵とも図柄が酷似することから、この小下図が天心邸のものと推定でき、復元の大きな根拠となったのである。当館では、東京藝術大学大学院美術研究科教授の荒井経氏と協力しながら小下図と現存板絵の顔料分析を実施し、その結果をもとに荒井氏が障壁画の復元を行った。本展では、これまでの研究成果を発表するとともに、完成した復元障壁画を初公開した。

●担当 塩田积雄(学芸員)

●関連記事

- ・天心書齋の障壁画復元 2年調査、大観ら関係か
1月12日【茨城新聞】
- ・四季の花鳥画27点 県五浦美術館企画展開催
近代の代表作家作品 2月12日【茨城新聞】
- ・天心旧宅のふすま絵復元 障壁画も
2月12日【読売新聞】
- ・構図に試行錯誤の跡 天心邸に大観、春草描く
2月21日【茨城新聞】
- ・天心旧宅の障壁画を復元 2月24日【読売新聞】
- ・多様な表現 まなざし感じて 3月19日【産経新聞】

● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	材質	形状・寸法(縦×横)cm	所蔵
1	荒井 経	旧岡倉天心邸復元障壁画	令和3年(2021)			当館
		襖		鳥の子紙・墨・金泥・金箔・銀箔・胡粉	襖(2面)：各169.5×85.0/ 菊図：52.5×175.0	
		天袋		鳥の子紙・墨・金箔	天袋(4面)：各24.0×41.5	
		書院		杉・墨・金泥・銀箔・白緑	欄間絵：34.4×171.5/妻板(2面)：各152.5×33.7/地板：27.0×171.5	
2	横山大観	旧岡倉天心邸障壁画 小下図	明治38-41年頃 (c. 1905-08)			個人
		小下図1		紙本・彩色	25.2×54.3	
		小下図2		紙本・彩色	22.1×88.5	
		小下図3		紙本・彩色	25.5×86.0	

2 岡倉天心記念室

- 概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年5回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回 2021(令和3)年4月24日(土)～6月20日(日)							
1	横山大観	1868-1958	朝顔日記	明治33年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×50.0	
2	横山大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50.4	寄託
3	横山大観	1868-1958	苦行	明治44年	絹本・彩色・軸装	126.0×61.0	寄託
4	下村観山	1873-1930	驟雨	明治41年頃	絹本・彩色・軸装	69.5×41.0	
5	菱田春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
6	木村武山	1876-1942	貴紳観桜図	明治33～34年頃	絹本・彩色・軸装	119.8×49.5	
■第2回 2021(令和3)年6月22日(火)～8月17日(火)							
1	横山大観	1868-1958	夕立	明治35年	絹本・彩色・軸装	116.0×50.0	
2	横山大観	1868-1958	布袋図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	112.4×49.4	
3	下村観山	1873-1930	納涼図	明治33年頃	紙本・彩色・軸装	84.0×50.0	
4	木村武山	1876-1942	立葵	大正9～10年頃	絹本・彩色・軸装	119.8×49.5	
5	木村武山	1876-1942	七夕 七月	大正12～14年頃	絹本・彩色・軸装	121.6×27.4	寄託
6	木村武山	1876-1942	菊 九月	大正12～14年頃	絹本・彩色・軸装	120.9×27.3	寄託
■第3回 2021(令和3)年9月20日(月・祝)～10月24日(日)							
1	横山大観	1868-1958	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.2	
2	菱田春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.5×41.3	
3	下村観山	1873-1930	帰獵の図	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託
4	木村武山	1876-1942	イソップ物語	大正元～2年	絹本・金地彩色・屏風 二曲一双	169.0×182.0	
■第4回 2021(令和3)年10月26日(火)～12月26日(日)							
1	横山大観	1868-1958	隠棲	明治35年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.0	
2	菱田春草	1874-1911	砧	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	49.4×83.5	
3	木村武山	1876-1942	雨中の柿	大正9～10年頃	絹本・彩色・軸装	144.9×56.8	寄託
4	木村武山	1876-1942	老松二鷹	大正10～11年頃	絹本・彩色・軸装	142.8×56.6	寄託
5	木村武山	1876-1942	弁財天	大正15年	絹本・彩色・軸装	181.1×85.0	
■第5回 2021(令和3)年12月28日(火)～2022(令和4)年2月10日(木)							
1	岡倉天心	1863-1913	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託
2	岡倉天心	1863-1913	月の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託
3	横山大観	1868-1958	鹿島神宮	昭和3年	絹本・彩色・軸装	149.0×57.0	
4	横山大観	1868-1958	筑波山	昭和3年	絹本・彩色・軸装	149.0×57.0	
5	菱田春草	1874-1911	五浦ノ月	明治40～41年頃	絹本・彩色・軸装	113.6×50.7	
6	木村武山	1876-1942	五浦の朝	五浦時代	絹本・彩色・軸装	46.7×51.6	

(2) 資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

- **テーマ名** 震災復興記念「平潟港と八大龍王画」展
- **会 期** 2021(令和3)年4月24日(土)～6月20日(日)
- **内容解説** 当館に寄託される「八大龍王画」(平潟小型船組合蔵)は、大正元年(1912)、平潟町小船組合の鈴木庄兵衛が岡倉天心に依頼し、画家の橋本永邦が揮毫、天心が賛を寄せたものである。漁港として栄えた平潟港は海上の守護神である八大龍王が信仰された場所であり、平潟港には八大龍王碑が建立されている。また天心自身も、自ら考案した舟に「龍王丸」と名付けており、龍王を信仰する者の一人であった。
平潟港では年に一度、八大龍王祭が開催される。このとき「八大龍王画」は組合に返却され、会場の壁に掛けられる。海の安寧を願う組合の人々が、100年以上経った今でも、信仰の対象として大切に扱っていることがうかがえる。本展では「八大龍王画」を展示し、同作品が平潟港に継承される意義を併せて紹介した。
- **展示資料** ・橋本永邦「八大龍王画」大正元年(1912)、平潟小型船組合蔵(当館寄託)
・岡倉由三郎「覚(八大龍王画の由来書)」昭和4年(1929)、当館蔵
- **担 当** 塩田積雄(学芸員)

- **テーマ名** 「ボストン美術館の富田幸次郎」展
- **会 期** 2021(令和3)年6月22日(火)～10月24日(日) ※8月18日(水)～9月19日(日)臨時休館
- **内容解説** 富田幸次郎(1890-1976)は、ボストン美術館の東洋美術部長として戦前から戦後にかけて活躍した人物である。明治23年(1890)、蒔絵師の大家、富田幸七の長男として京都市に生まれた。39年(1906)、京都市立美術工芸学校専攻科在籍中に農商務省海外実業練習生に選ばれ、室内装飾を学ぶため、ボストンに留学した。そこで、ボストン美術館顧問を務めていた岡倉天心に会い、天心から美術館の手伝いを勧められた。当時17歳の富田は、そのときのことを「幼いながら天心先生の人格を私はピンと感じて、その言葉に従った」と語り、海外実業練習生の傍ら、ボストン美術館で働き始めた。富田は、美術館の仕事のみではなく、天心と生活を共にして身の回りの世話もすることで、東洋美術の神髄、天心の心を学んだという。そして、海外実業練習生を終えた後もボストンに残り、大正2年(1913)の天心逝去後、天心の衣鉢を継ぐことを使命に、55年間にもわたりボストン美術館に勤めた。
本展では富田幸次郎が、病気のため帰国していた天心(当時、ボストン美術館中国・日本美術部長)に宛てた書簡(大正2年)などを公開した。書簡から、天心の最晩年、ボストン美術館でどのような仕事が行われていたかがうかがえた。
- **展示資料** ・富田幸次郎「書簡 岡倉天心宛」大正2年(1913)6月13日、当館蔵
・『古今漆工通覧』明治45年(1912)、当館蔵
- **担 当** 松尾敦子(主任学芸員)

- **テーマ名** 「新納忠之介による仏像調査」展
- **会 期** 2021(令和3)年12月28日(火)～次年度
- **内容解説** 明治30年(1897)、岡倉天心の尽力により古社寺保存法が公布され、国宝(通称「旧国宝」)。現在の国宝および重要文化財に相当)に指定された仏像が国家予算によって修理されることになった。天心により、日本美術院で仏像修理の責任者に抜擢された新納(にいろ)忠之介は、明治32年9月27日、内務省から「古社寺保存計画ノ調査」を委嘱され、同日付で東京・神奈川・静岡への調査出張を命じられた。
記載内容と日付(年は不詳)から、その時の調査記録と考えられるノートが2冊残されており、1冊目では静岡県内と神奈川県内の寺社を、2冊目では神奈川県内の寺社を調査した際の記録が残されている。ノートには調査した仏像の名称に「◎」「○」の印や、「設計」「認定」などの注記があるほか、修理候補と思われる仏像の一覧を記したページには「設計ノ分」の注記が記された仏像や、逆に線を引いて消されている仏像もあって、修理候補を絞り込む様子がうかがえる。
本展では新納のノートと共に、調査、修理の対象となった仏像の一部を写真パネルで展示し、新納の功績を紹介した。
- **展示資料** ・内務省辞令・新納忠之介宛「古社寺保存計画ノ調査ヲ嘱託ス」(明治32年9月27日)、当館蔵
・内務省辞令・新納忠之介宛「東京府神奈川県静岡県へ出張ヲ命ス」(明治32年9月27日)、当館蔵
・新納忠之介「ノート(調査記録・静岡、神奈川)」明治32年(1899)頃、当館蔵
・新納忠之介「ノート(調査記録・神奈川)」明治32年(1899)頃、当館蔵
- **担 当** 中田智則(企画普及課長)